

平成30年度予算：
100百万円（未来医療事業）

未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 ／ 革新的医療機器創出支援プロジェクト

概要

- 若手研究者を対象に、医療機器の試作品改良開発を支援する。その際に、上市に至るまでに必要な製品の安全性などの性能、治験対応、品質管理、事業性、さらには医療機器開発チームを取りまとめるプロジェクトマネジメントなどの考え方を、他施設での研究開発ならびにサポート機関による開発支援を通じて習得し、多角的な観点に基づいて、製品化により近づく医療機器開発を推進する。

具体的内容

【現状、問題点】

- 若手研究者が有する医療機器の優れたシーズは存在するが、市場導出へは製品としての性能、薬事対応、事業性などの必要要件が山積み。それ故、優れたシーズが開発後期に市場導出断念するケースも多く、これらの必要要件を早いフェーズから念頭に入れた開発計画が必要。
- しかし、現状企業向けの講習事業しかなく、若手研究者の研究開発が十分に支援できていない。また、産学連携にはプロジェクトマネジメントも必要。

【事業内容】

- 若手研究者を対象に、医療機器の試作品改良開発を支援する。その際に、品質管理、事業性などの製品開発からの視点や、他施設での研究開発による知見を取り入れ、製品化により近づく医療機器開発を推進する。

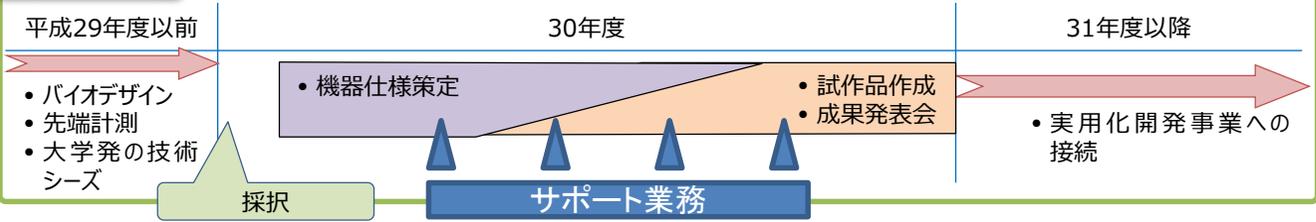
【期待される成果】

- 若手研究者のシーズが市場導出までスムーズに開発が進むことが期待され、次世代の革新的医療機器開発の基盤となる。
- サポート業務の効果の検証を通じて、今後の医療機器開発事業におけるサポート業務の改善に繋げる。

対象課題

- 【応募要件】「機器開発研究」若手研究者
「サポート機関」医療機器開発に関する講義ならびに試作品開発計画の見直しなどの助言・指導を行うことが可能な法人
- 【事業期間】 1年度
- 【事業規模】「機器開発研究」1件500～1,500万円程度、「サポート機関」2,000万円程度
- 【始期終期】平成30年度（1年度）

行程



説明図

